

広 報

とままえ

発行／北海道苫前町
編集／企画振興課広報広聴係



風かおる
人が輝き
躍動するまち

No.533
2006

1

迎春



苫前三角点スキー場から見た朝日

まちの人口

人口／4,120人
男／1,945人
女／2,175人
世帯数／1,752世帯
(11月30日現在)

苫前町議会だより(No.62)合併号

主な掲載内容

町長新年挨拶(2頁)
議会だより(3頁から7頁)
苫前町財政事情「平成16年度決算」(8頁～9頁)
社会教育だより(14頁)
国保・老健ガイド
「お正月の食事ワンポイント」(15頁)



標語 苫前町 交通事故 ゼロの町

古丹別中学校 2年 瀬波えりかさん



苦前町長 森 利 男

人が輝き躍動するまち苦前町

「新しい自治のかたち」の 確立をめざして

皆様、明けましておめでとございます。

お健やかに新春をお迎えのことと存じ、心からお慶び申し上げます。

今、わが国は激動の世紀と言われ、景気動向と共に深刻な経済的、政治的、社会的諸問題に直面し、少子高齢化や地球規模での環境問題、更に、国際化等から転換期を迎え、抜本的な改善が求められております。

現在、国は、日本の社会構造を中央集権から地域主権へ大きく変えよつとしており、それに対応するためには、自治体の経営規模や

能力が、これで十分なのか、問われている時代です。

「国から地方へ」、「官から民へ」の発想に基づき本町は、いち早く町内各種団体等から推薦いただいた方や、公募委員を含め二十二名で自立検討委員会を組織し、町民皆様の「意見を行政へ、積極的に反映させているところであります。

また、平成十七年十月一日からは、「まちづくり基本条例」を制定し、管内に先駆け町民、議会、行政が一体で出来ることから先々と進めていく体制を取っております。この条例は、全道でも数少ない

い市町村が制定し実行しており、本町においては、互いが研究し合い、つくり育てていく条例としてスタートしております。

市 町村合併では、危機的な財政状況を背景とした国の都合で進められております。合併旧法期限が終わり、平成十七年四月からは、合併新法の五年間の時限立法での議論状況を研究し、現在議論しているところであります。近々、道は、合併推進構想における道内市町村の合併の組み合わせを一通り示し、合併を推進する旨報道されております。

今までと違った厳しい内容にな

るものと思われ、踏まえて市町村も厳しい試練を克服しなければならぬ時代を迎えております。大切なのは、合併するにしても、しないにしても、町に力をつけることであると思っております。

本 町は、現在、大型風車を全国で初めて建設した町としてPR等を含め、平成十七年度から風力発電推進市町村全国協議会の会長として、全国各地で開催される全国風サミットや、当協議会主催の全国風力発電シンポジウムを東京霞ヶ関で開催し、関係市町村は勿論、国の関係機関、大学、企業関係者等多くの方に参加いただき、風力発電について東京から全国発信したところでもあります。

ま た、平成十七年度から本町では、電源開発(株)が全国で初めて風車の大型蓄電システムの利用を始め、国直轄事業による第三種古前漁港の整備、道事業での古丹別川、三毛別川の改修、力屋九重線の整備、町事業では、苦前地区の下水道整備、町民により良い水を供給するための水道取水場所の移設、苦前中学校の改築地域通貨の定着活用など本町のまちづくりも着々と進めております。また、町民の憩いの場である「とままえ温泉ふわっと」や「厚生病院」についても、今年に更に内容を充実検討し、将来のまちづくりに負担の掛からないよう研究を進めております。

本町のまちづくりのねらいは、

町の活性化を図りながら財政運営を安定化させ、特に本町の一次産業である農業、漁業の安定化を図り、商工業の活性化をしっかりと確立させる対策を進めます。また、本町の将来にとって極めて必要な項目は、町事業は勿論、国並びに道事業も含め、関係機関等との連携を深めながら前向きに実行することとしております。

こ れからのまちづくりは、これまでの国に判断を仰ぐ時代から、自ら基準を確立しないと乗り越えられない厳しい時代だと思います。これまでの成長を支えてきた横並びの安心感から、「自立」「や個性ある」「苦前町らしさ」を推し進めることが大切であると思っております。苦前町にとって、極めて大切な時期であり、将来の苦前町をしっかりと見据え、悔いの残らないよう町民皆様が納得できる、しっかりとまちづくりを進めていく所存でありますので、皆様のより一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

い つまでも、町民の皆様がおい元気で住みやすい、活気にあふれたまちづくりを進めていきたいと思っております。

日本で、初めて導入した大型風車も蓄電研究施設を備えて、安定して今もしっかりと風を受けて回っております。本年が、皆様にとって、最良の年でありますよう心祈念申し上げます。

新年あいさつ

輝かしい新春を迎えて

苦前町議会議長 星野恭司

新年あけましておめでとございます。
輝かしい平成十八年の年頭にあたり、謹んで皆様に新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、大きな災害もなく農業・漁業において収穫量、漁獲量とも一昨年を上回ることができました。国内の景気は回復したとは言え、道内の景気の回復は、一向に上向きに転じていません。

国は財政難により、市町村合併及び公共投資や地方交付税の削減といった地方への締めつけを一段と強め、市町村合併では、新合併特例法のもと新たな段階に入ってきており、地域社会の衰退につながらないのか、危惧しております。今後、各市町村とも連携を強めながら、しっかりと対応していかなければならないと考えております。

また、地方交付税削減により、町財政は極めて深刻な状況を迎えており、なお一層の行財政改革を押し進め、町財政の堅持に傾注していかなければならないと考えております。

この町に住んでいる皆さんが、この町に住んでよかったですと実感し、他所の人達に、ぜひ苦前町に住みたいと思われ町づくりをめざし、昨年十月「苦前町まちづくり基本条例」を制定しております。かつてない大変厳しい時代を迎え、議会は町と一丸となって風雨強かるべき明日に向かい、一生懸命、前進を続ける決意であります。

どうか今年も、より一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、今年が皆様にとりまして幸多き年でありますようお願い申し上げます、私の新年のご挨拶といたします。

本年も宜しくお願いたします



間宮英明



西大志



西田清一



副議長
藤田憲二



議長
星野恭司



浅井昭



林秀行



猫島優



年代芳則



青木幸隆



小阪伸一



阿部俊一



柴田文夫

議会事務局

事務局長 竹内勝	総務係長 長澤まゆみ	書記(供任) 成川敬
" 古林佑介	" 加賀谷之治	"

苫前町議会

2006

議会報発行特別委員会

議会だより

1

委員長	阿部 俊一
副委員長	青木 幸隆
委員	藤田 憲二
//	猫島 優
//	西 大志

苫前郡苫前町字旭37番地1 TEL64-2385

No.62

平成17年 第4回定例会

平成17年第4回定例会は、12月15日開会し、三議員が一般質問を行い、続いて、町長から条例、補正予算など8件、議員から意見案2件が提案され、原案どおり可決した。また、決算審査特別委員会に付託された16年度各会計決算では、認定すべきと決定をした。



議案の主な内容

苫前町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例(地方公務員法が改正され、人事行政の運営等の状況の公表)

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例(特別職非常勤の町内日当支給の廃止、交通安全指導員の年額報酬を日額報酬に改正)

一般会計補正予算(下表参照)
老人保健特別会計補正予算
(老人医療費支給費一七四万三千元増額)
介護保険特別会計補正予算

一般会計補正予算

補正額3,513万2千円を追加し、歳入、歳出予算総額をそれぞれ47億3,517万9千円とする。

主な内容

元気な地域づくり事業補助金	2,901万6千円
昭和地区農業用排水路整備工事	184万0千円
小学生用防犯ブザー(安全対策)	25万2千円

(住宅支援サービス給付費負担金一七〇万九千円増額)
国民健康保険特別会計補正予算(保険給付費二、九二九万八千円増額)
町道路線の認定について(路線の認定「昭和羽幌界線、延長の変更」「東川川南線、羽幌長島線」)
建設業の経営基盤の安定および季節労働者の雇用と生活の安定を求める意見書提出について
都道府県漁業調整規則における罰則強化について漁業法の改正を求める意見書提出について

産業厚生 常任委員会

11月14日開催

委員会レポート

町道除排雪業務委託について

今冬の除排雪業務委託料は、軽油等の高騰により、作業機械単価も大幅な値上がりを見せ、入札予定時の基準価格で積算した結果、当初予算に不足が生じるため、除排雪委託料の増額について協議した。

全員協議会

《十一月十七日開催》
指定管理者制度導入の公募要項等について

とままえ温泉「ふわっと」、苫前町ななかまどの館、苫前町生きがいデイサービスセンター、苫前町若者交流センターの施設を管理する、管理者選定に関する公募型プロポーザル審査基準を協議した。

《十一月二十八日開催》

元気な地域づくり事業について
近年、個々の酪農経営も法人組織による作業体系により、収

穫作業や完全飼料の供給など、地域支援システムが動き始めている。本町においても地域の特性を活かした酪農基盤を確立するため、個人から共同化へ、土地利用集積と合わせ農作業の効率化による生産コストの低減を進める必要がある。

こうした状況から、本年十月農業生産法人が設立され、作業効率の向上による良質な飼料の確保と品質の高い完全飼料の供給を目的に、施設と機械の整備を行うものである。

(事業主体)
農業法人 アグリランド

(事業内容)
構成員 酪農家十四戸

自走式草刈機ほか関連機械七台、農機具格納庫、飼料調整棟貯蔵施設、管理事務所など
事業費 二億九、〇〇〇万円
補助金 一億 六〇〇万円
事業主体 一億八、四〇〇万円

一般質問（三議員）

森町政4年目に向けての行財政への課題及び対応について

猫島議員

この三年間、町村合併問題、自立運営検討プラン、まちづくり基本条例の制定、指定管理者制度の採択と難題に向かい、今後予想される諸問題は、新法による合併問題、広域連合、三位一体の改革、道州制などがある。行政上最重要課題は何か、所見を伺いたい。

次に財政問題で過去二年間は枠配分方式を取ってきた。この方式は単純、明快、矛盾なしに見えるが、継続的に用いると生じた財政への効果を求めた時クオリティの低下を招く。

自立運営検討プランの一〇〇から九〇への議論も大切だが、時には一〇〇か、ゼロの議論も深めるべきだ。新年度予算編成に当たり重要課題をどこに置いて取り組むのか伺いたい。

答弁 / 森町長

行政サービスの水準を維持しながらの運営には、効率的な行政運営が重要だ。現在「第四次苦前町行政改革大綱」の策定を進めているが、地方分権時代にふさわしい行政システムの構築に努めなければならない。合併

旧法での合併協議の破綻により、当面、自立に向けて効率的・効果的な行政運営を推進するため、広域的な連携を一層強化する必要がある。今後、研究・検討を進めたい。

三位一体改革については、地方分権に対応しうる体制を強化しつつ、これまでもまして徹底した行政経費の削減に努めなければならぬ。道の事務事業のうち、道州制のもとでは、より住民に近い市町村が実施する事が望ましいと思う。

ご指摘事項については、相互に関連があり、いずれも本町の将来に渡っての方向性を決定する重要な課題であると認識しております。これらの検討に際しては、議会での議論、町民への積極的な行政情報の提供を図り、意見を最大限尊重し、町民が納得できるまちづくりの実現に向けて取り組みたい。

平成十八年度予算編成方針では、行政改革大綱の実現を目指し、「枠配分方式」による経費の削減と合理化に努めたい。政策的経費についても、優先順位をもとに厳選し、投資の適正化を図りたい。「クオリティ」という考えについては、各担当課において町民ニーズを的確に把握した上で、予算編成に取り組んでいるものとする。

苦前町まちづくり基本条例の運用方法とその認識について

西議員

まちづくりに関する事業・政策などの情報の共有化に向けた施策の展開方法について、今一つ認識の統一が見られない印象を受ける。そのため施行規則を作る必要性等を感じる。また、どの様に運用していくか認識を伺いたい。

答弁 / 森町長

現在、総合振興計画や行政改革実施計画等の検討を行い、周知用広報誌の作成や説明会、町民意見提出制度等を実施する予定。町が行う政策・事業はすべて総合振興計画に根拠を置く。当該施策及び事業を説明し、情報の共有化に努めたいと考えている。情報の共有化、町民参加に関する実務の取り扱いを統一した施行規則・要綱、規程などの必要性は認識しているところで、検討していきたいと考えている。

平成18年度予算編成について

西議員

平成十八年度予算の情報提供をすべく、総合振興計画との整合性が保たれる予算となるのか。基本計画・実施計画をどの様に策定するのか。その他計画も含めた進捗状況・内容説明と平成十八年度予算との整合性の

確保について伺いたい。

答弁 / 森町長

予算に係る町民への情報提供・説明を考えている。その内容は調査研究中だが、十八年度予算の周知から対応していきたい。総合振興計画と予算の整合性を図りながら、予算編成に取り組んでいる。計画期間中における計画の検証を行うために、別の実施計画を策定し、ローリング方式による検討を加え検証する。

地方を取り巻く医療体制について

西議員

近隣市町村で医師撤退が叫ばれる中、町として地域医療をどのように確立させるのか。近隣市町村との広域的な取り組みの必要性を感じるが、どうお考えか。医療過疎とも言える状況で緊急的な医療体制を整える対策は何か。

答弁 / 森町長

機能充実を図り、安心して受診ができ、的確な医療行為や指導・助言が確保できるよう地域医療の確立を目指す。一次医療機関の同意のもと、道内二次三次医療機関との情報ネットワークづくりや医療連携システムの構築が必要と考える。現在、消防古丹別支署には三名の救急救

命士があり、早い時期に高規格救急車の配置を実現し、住民の不安解消、重症化予防を担う体制づくりを構築したい。

地方交付税に影響のない自主財源の模索

阿部議員

財政健全化に向け、予算の枠配分方式を数年続けて来たが、決算での不用額が少額となっている事は、削減の限界を示唆している。歳入において税収と地方交付税は、表裏一体であり、報われる努力は極わずかである。国は、地方の自立を促すが、自立の出来ずらい制度はそのままである。今までの行政概念にとられず、交付税の影響を受けない政策を考えなくてはならない。例えば、風車企業に対し、固定資産税を免除し協力金に乗せる。蓄電施設も同様に、目的税を掛け、環境整備による一般会計支出を抑えるなど智慧が必要と思うが、厳しい時代を乗り切る決意を伺いたい。

答弁 / 森町長

基準財政収入額に算入されない町独自の収入は、手数料、使用料、財産収入等であり、見直しを含め検討したい。新たな目的税は調査・研究をしたい。同時に国に対し、交付税の算定において算入率の引き下げを要望する。

決算審査特別委員会

平成16年度 決算認定

平成17年10月24・25日開催



決算審査に対する質疑

一般会計決算認定について

質 西 委員

一点目に、ロケ地調査及びホームページ公開委託事業の成果について、二点目に、成人保健対策検診等委託業務での検診された方々の評価及び状況について、三点目に、ウニの人工種苗放流事業の結果及び事業展開の経過説明を、四点目に、風車まつりでの住民参加を期待したいとの思いと事業の評価について、五点目に乳幼児家庭教育での事業効果について説明願う。



花風車公園を楽しむ親子

答 山田企画振興課長

一点目のロケ地調査、ホームページ公開委託事業は町のホームページで公開する事により、観光振興が目的で国の一〇〇割補助の雇用対策事業です。効果として、三名が雇用でき、映像公開により町のPR及び観光客の増加に寄与していると考えます。

四点目の風車まつりですが、十六年に比べ本年は、更に住民参加が促せたと思っております。今後は地域振興に大きく寄与するよう考えております。

答 渡辺町民課長

成人保健対策検診業務についてですが、基本検診、各種ガン検診など、町及び職場検診等を合わせ三六・五割相当の数字となります。データベース化しており、本人への指導、アドバイスなどを適切に進めていきたいと思っております。

答 河端農林水産課長

ウニの種苗関係ですが、毎年苦前と力昼に五万粒ずつ放流しています。年毎に水揚げに差がありますが、十七年度は六トンの水揚げを予定しています。

豊浦地区より放流場所を変えるなど調査をしながら実績を残したいと思っております。

答 伊藤社会教育課長

乳幼児家庭教育の事業件数は年間三十一講座開催しています。ラッコクラブ、カンガルースクールなどの他、乳幼児からのブックスタートなど、本の普及も実施してます。

質 青木委員

各種保険料、使用料等の滞納



母子に読み聞かせを行う図書室サポーター

繰越が十五年度で六二六万円、十六年度で七一五万円と増えている。昨年の決算委員会で、プロジェクトチームを作り、収納に努力との言葉があつたが、この一年間の経過を説明願う。

答 齊藤助役

昨年の委員会後に各関係課連絡会議を行い、横の連絡を密にした対策本部を設置し、収納事務にあたりましたが、増額となつております。督促状、催告状、きつい内容の催告状など、又、国保に関しては三か月毎の保険証発行など納付相談、納税促進を図っておりますが、これ以上の事になりますと法的関係も考えなければと思っております。

質 青木委員

監査意見では面接の強化、納入促進とありますが、助役を筆頭にしての徴収業務が必要だ。忠実に仕事をしてくれ、職員の評価が上がると、税を基本に行

政の仕事をしている事を認識すべきだ。

答 齊藤助役

対策本部長として、職員一人となり徴収に努力を致します。

質 阿部委員

住宅使用契約において、保証人の連帯性など契約書に、不備はないのか。

答 村田建設課長

昨年、保証人との話し合いのなかでは、徴収までは厳しさを感じています。連帯保証人を含めた裁判に関しては、もう少し勉強し、検討したい。

答 齊藤助役

過去の契約内容で、連帯保証人になっていない契約については、再度契約の変更を検討します。

質 西田委員

住宅使用料滞納繰越分の内、九六万円の収入があるが、件数は何件か。また、不能欠損を起す年数はどれくらいか。

答 村田建設課長

収入件数は五件です。

答 岡田総務財政課長

時効扱いには、多様なものがあります。住所不定等、五年間の経過後、不能欠損を起す事がほとんどです。

質 西 委員

町税、地方交付税の落ち込み

についての分析検証、見解を伺いたい。

答 岡田総務財政課長

交付税に関しては、三位一体改革での影響と見ます。町税の落ち込みは、景気の低迷と風力発電機の減価償却資産の落ち込みが主です。

質 西 委員

町政執行方針において、自主財源確保に取り組みと言われたが、その方策はどんなものだったのか、決算結果の判断を伺う。

答 岡田総務財政課長

自主財源確保の件では、保育料の見直し、遊休資産の売却、税・使用料の徴収向上等ですが、効果は微増であります。

今後、財政の健全化を図るには、公債費の償還額を早くに圧縮する事が考えられます。自立検討委員会の具申を踏まえ、手数料等の見直し、又、新たななる税の創設などを検討し、小さな行政を推進するべきかと考えます。

質 西 委員

経常経費の削減努力は十分くみ取れますが、今後使用料・手数料の増額で財源がカバー出来るとは考えられません。人件費にも手が掛かるのでは」と心配します。産業系の予算も含め十六年度の施策展開の中で感ずるところ、新年度に向けての方向性について町長に伺いたい。

答 森 町長

国の三位一体改革の進行が遅れている。状況をみながら財政や予算を考えなくては行けない。行政のスリム化は十一年から十五年まで五割の予算を減額。十六年、十七年は一〇割の減額をするなど進めているが、将来に影響する懸案事項もあり、トータルの中で基金のある内に、町の将来の用途をつけたい。人件費においても地域的な人事院勧告もあり、職員の意識高揚を妨げないよう研究したい。委員から以前、起債制限の話もありましたが、将来を考えて執行するものであります。国の状況、確立を見ながら進めていきたい。

質 林 委員

苦前中学校の建設費で十六年十七年の継続事業の中、四対六の事業費割合をしたが、不用額を出している、債務負担行為とはいえ、四〇割にこだわらず、予算内であれば不用額を出さず支出するべきでは。

答 伊藤管理課長

十六年度工事の入札執行残は不用額が適当と判断しました。

答 廣瀬教育長

林委員の質問内容は、十分理解できます。予算執行はできませんが、補助基準に連動した歳出と理解頂きたい。

苦前町国民健康保険特別会計決算認定について
苦前町老人保健特別会計決算認定について
苦前町介護保険特別会計決算認定について
（保険事業勘定、サービス事業勘定）
苦前町簡易水道事業特別会計決算認定について
苦前町下水道事業特別会計決算認定について
苦前町風力発電事業特別会計決算認定について
財産に関する調書、基金の決算認定について

総括質疑
林 委員

決算全般を見て、非常に厳しい



委員全員の賛成により決算認定が行われる

い予算の中、各節間の流用など苦勞が伺える。職員に敬意を表したい。

住宅使用料滞納問題でも徴収の努力は見えます。問題は、公住の修繕等であります。早くにオール電化の修繕も出ている。屋根もペンキ塗りを怠っている。修繕があるかと思う。耐用年数を延ばす管理を考えて欲しい。厳しい財政状況の中、職員には智恵を出して頂きたい。

一つは、住宅使用料と公債費の関係であり、三千三百万円ほど足りない。規制の中の賃貸であるが改善を望みたい。
二つ目は「ふわつと」、使用のバスである。町全体での有効な利用を考えて欲しい。
最後にIT関係であるが、今後はもつと利用が多くなるだろうと思う。委託費等も増えている、職員に技術講習を受けて貰い出来るだけ自前で賄えるよう推進すべきである。

答 森 町長

ご指摘の件につきましては、研究させて頂きます。ペンキ塗り等も年次計画をもって管理したいと思えます。バスに於かれましては、「ふわつと」と協議し、空いている時間帯での利用を研究をしたいと思えます。IT関係は、係長クラスが中心にホームページなどを手がけています。更なる財政の軽減に向け、進めて行きたいと思っています。

第4回臨時会
11月18日開催

平成十七年第四回臨時会は、十一月十八日開会し、町長から提案された3件が原案どおり可決された。

苦前町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
全ての俸給月額を〇・三%引き下げ、扶養手当を月額五〇〇円引き下げる。

一般会計補正予算
補正額五六一万四千円を追加し、総額四億七千万円とする。（保健師の職員手当、道路除排雪委託料、力昼小学校住宅の建設補助金の償還金等増額）

下水道事業特別会計補正予算
補正額七〇万円を追加し、総額一億一、七八三万一千円とする。（水洗便所改造補助金の増額）



住宅下水道工事の風景

平成16年度決算

町では、年2回まちの財政事情を公表しています。
今回は、平成16年度決算についてお知らせします。

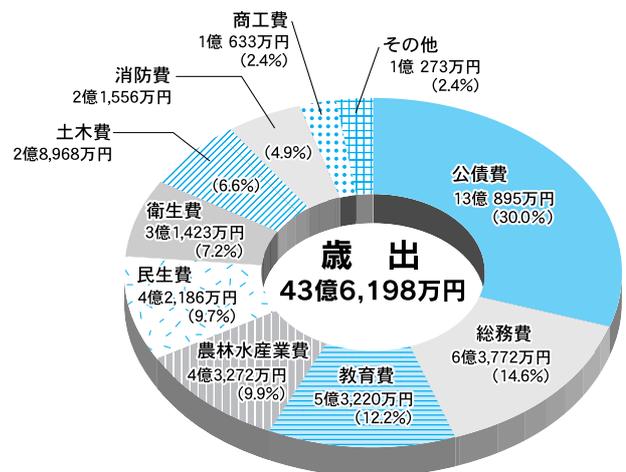
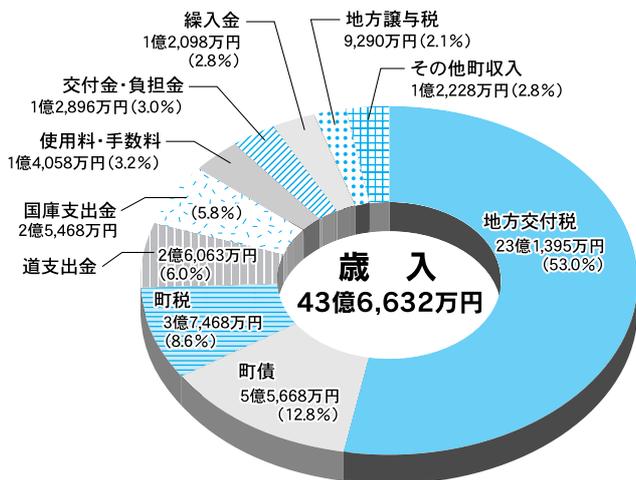
一般会計

平成16年度一般会計の決算状況は、歳入総額43億6,632万円に対し、歳出総額43億6,198万円、差引434万円の剰余金が生じましたが、実質的には不足財源分として1億2,098万円を基金より繰り入れました。

歳入においては、歳入の大半を占める地方交付税が前年度より7,996万円減少しましたが、国庫支出金（主に苫前中学校建設事業分）が1億3,351万円の増、地方譲与税1,252万円の増などにより、総額で前年度決算よりも1億3,671万円の増額となりました。

一方、歳出では、主なものとして教育費が前年度より1億5,858万円（主に苫前中学校建設事業費）、公債費（借金の返済）が8,087万円、総額では1億4,763万円それぞれ増額となっております。

また、台風18号、留萌南部地震等の災害復旧費は、3,168万円（対前年度2,843万円増）の支出となりましたが、翌年度へ1億5,250万円分もの予算を繰り越し、復旧に充てることとしております。



町民一人に使われたお金 (1,051千円)



わが町の借金

公営企業債については利息を含む

種別	金額 (万円)
町債 (元金)	78億8,416
町債 (利息)	9億4,150
債務負担行為額	20億4,286
簡易水道債	15億3,947
下水道債	18億7,311
風力発電債	2億5,471
合計	145億3,581

わが町の財産

建物	71,536㎡
土地	1,461万㎡
出資金	1億3,393万円
貸付金	248万円
物品等	1億9,466万円以上

わが町の貯金

基金の種類	金額 (万円)
財政調整基金	5億2,496
減債基金	4億4,515
羽幌線代替輸送確保基金	2億7,461
文化振興基金	540
公共施設等整備基金	2億2,991
まちおこし基金	1億6,834
地域福祉基金	1億3,798
土地開発基金	3,695
産業振興基金	3億580
特別会計基金	1億8,756
合計	23億1,666

特別会計の決算

国民健康保険特別会計

被保険者の医療費の7割給付、出産育児金や葬祭費などの給付を行っています。町内の国民健康保険の加入者数は990世帯、2,151人となっています。

歳入	5億 713万円
保険税	1億7,118万円
国庫支出金	2億1,480万円
一般会計から	4668万円
その他	7447万円
歳出	4億9,200万円
保険給付費	3億1,960万円
老人拠出金	1億1,689万円
その他	5,551万円
会計の貯金	1億4,003万円

老人保健特別会計

老人保健法により75歳以上（寝たきりなどの状態の人は65歳以上）の方を対象に医療費の支給などを行っています。

歳入	7億 963万円
基金交付金	4億2,765万円
国庫支出金	1億8,068万円
一般会計から	4,528万円
その他	5,602万円
歳出	6億9,374万円
医療諸費	6億8,492万円
その他	882万円

介護保険特別会計

保険事業勘定（介護保険の給付等）

歳入	3億4,917万円
介護保険料等	1億5,699万円
国・道支出金	1億3,212万円
一般会計から	5,521万円
その他	485万円
歳出	3億3,897万円
保険給付費	3億1,583万円
その他	2,314万円
サービス事業勘定（居宅介護支援事業）	
歳入	1,405万円
サービス収入	1,351万円
その他	54万円
歳出	1,347万円
居宅介護支援事業	827万円
その他	520万円
会計の貯金	846万円

簡易水道事業特別会計

町内全域に水道水を給水し、配水管の敷設替を行いました。また、取水場移転のための新設工事を行いました。（平成17年度完成）

歳入	3億5,717万円
水道使用料	1億 599万円
借入金	2億1,840万円
一般会計から	3,155万円
その他	123万円
歳出	3億5,713万円
給水事業費	2億5,691万円
借入金返済	9,191万円
その他	921万円
会計の貯金	194万円
借入金	1億5,947万円

下水道事業特別会計

苫前地区の下水管渠の布設、下水道浄化センターの建設を行いました（H17年度より苫前地区供用開始）。

歳入	7億4,550万円
国庫支出金	3億5,280万円
借入金	2億8,480万円
一般会計から	8,875万円
その他	1,915万円
歳出	7億4,550万円
下水道事業費	6億7,869万円
借入金返済	6,681万円
借入金	18億7,311万円

風力発電事業特別会計

豊浦に設置した風車3基により発電を行い、売電売上が5,425万円となりました。

歳入	5,724万円
売電収入	5,425万円
その他	299万円
歳出	5,370万円
維持管理費	2,403万円
借入金返済	2,967万円
会計の貯金	3,712万円
借入金	2億5,472万円

読書感想で感性豊かな作品発表!

十二月三日第25回読書感想文コンクール表彰式が町公民館で行われ、入賞した小中学生及び高校生三十六名に対し、伊藤通康公民館長から表彰状が贈られた。

このコンクールでは、町内各学校から百十四点の応募があり、小学一年生から高校生までの六部門において、最優秀賞、優秀賞、佳作合わせて三十六名を決定した。

伊藤公民館長からは、入賞者を讃えるとともに「読書は人々の感性を磨き、豊かな表現力を

高め、生きる力を培い、夢や口マンにあふれた人生の羅針盤。夢や希望を育む図書を選定し、皆さんの応援隊になりたい」と読書の大切さを呼びかけた。

この後、各部門最優秀賞作品が朗読され、子どもたちの感性の豊かさに父母らも感心。

最後に、松本美樹雄審査委員長（苫前中学校校長）から「いずれの感想文も物語をしつかりととらえ、自分の考え方が盛り



小学1年生の部最優秀賞「ごめんねともだちをよんで」を発表する嶋崎空都くん

入賞者は次のとおりです。

小学一年生の部

- 《最優秀賞》嶋崎空都（苫小）、《優秀賞》田井奈津妃（古小）、佐藤真夕（苫小）《佳作》永井星奈（古小）、田中翔貴（苫小）、本田脩陽（苫小）

小学二年生の部

- 《最優秀賞》江島朋香（古小）、《優秀賞》高田里帆（苫小）、岸仁美（苫小）、《佳作》檜合祥貴（苫小）、中村昂太郎（古小）、加藤ななみ（古小）

小学三・四年生の部

- 《最優秀賞》伊藤翔貴（古小四）、《優秀賞》坂川さゆみ（苫小四）、《佳作》福田レナ（古小四）、小澤悠哉（古小三）、千田大貴（古小三）、田口萌乃（古小三）

小学五・六年生の部

- 《最優秀賞》前田玲奈（古小六）、《優秀賞》亀田愛（古小六）、鳥羽優奈（苫小六）、《佳作》川村友紀奈（苫小六）、西村涼汰（古小五）、伊藤佳織（苫小五）

中学生の部

- 《最優秀賞》成川明日香（苫中二）、《優秀賞》小野田紘子（苫中一）、伊藤沙弥香（苫中三）、《佳作》石川瑞樹（苫中二）、横内勇人（苫中一）、大橋恵里奈（苫中二）

高校生の部

- 《最優秀賞》小澤侑子（苫商三）、《優秀賞》鈴木真波（苫商三）、佐藤麻美子（苫商二）、《佳作》松原未佳（苫商三）、大西歩未（苫商二）、高野晃徳（苫商二）

「文芸」

苫前町文芸を語る会

（短歌）

よく冷えしワイングラスで初春を祝ふ一族のよく似し顔よ
古丹別 大矢根亮子

母逝きて幾年なりや巡りくる冬を重ねて仰ぐ寒月
栄浜 横内弘子

雪かぶる大根畑に太りみて違えば水もしたたる如し
長島 水谷露子

おたがい若くないから無理をせず愛犬つれて雪道を行く
古丹別 木幡とく子

古びたる布団一枚捨つるのに切符求めて凍し道行く
古丹別 住吉美恵

（俳句）

縹渺と 北の大地の 大旦
古丹別 桑風

にぶき陽や 雲七変化 我が故郷
古丹別 林千代美

川柳

（文責・大矢根）

泣く笑う もうこれまでと 除夜の鐘
古丹別 運上吉雄

掃除終え 心すっきり 初春迎え
古丹別 今新きみ子

久瀾を 謝する一度の 年賀状
古丹別 斎数範章

床の間に 初心の一字 誓う初春
古丹別 関武

混雑を 拝んで帰る 初詣で
古丹別 鎌田信夫

職場を通じ交通安全の推進に参加しよう！

十一月二十五日公民館で、三町村輸送関連産業団体の交通安全

全総決起集会在が開かれ、交通事故防止の徹底により事故撲滅を誓い合った。

大会は、重大事故に直結する過労運転、飲酒運転、過積載運転などの無謀な運転を自主的に撲滅するため、中部三町村の交通安全推進協議会・交通安全協会が輸送関連事業所に呼びかけ、二百五十名が参加。毎年、持ち回りで開催されている。

まず、交通事故物故者に対し黙祷をささげ、羽幌地区交通安全協会連合会の松谷吉男会長から事故防止を呼びかけ、交通功労者及び優良運転者の表彰を行った。

苦前町における表彰受賞者は次のとおりです。

全日本交通安全協会会長 緑十字 銅章 松原巨（九重）、北海道交通安全協会会長表彰 消防古丹別支署、優良運転者三十年以上 後藤たみよ（古丹別）、同二十年以上 久保榮子（東川）、旭川方面本部長・交通安全協会連名表彰、交通功労 笹森武（力昼）、交通功労団体 苦前町高齢者事業団、苦前町商工会、羽幌警察署長・羽幌地区交通安全協会連名表彰、交通功労 早川利一（九重）、秋山修（古丹別）、交通功労団体 有奥瀬電気（株）山崎電気、優良運転者十年以上 中森浩光（旭）、檜森光幸（古丹別）、小川定夫（九重）、藤原茂（力昼）、松浦有恒（古丹別）、磯崎功（苦前）、佐藤靖幸（苦前）

苦商高 体験発表会

活動の成果を発表！



11月19日苦前商業高等学校が公民館で、体験発表会を行い、国際交流や町内施設見学及び職場実習、ボランティア活動を報告するとともに、課題研究では

カボチャやミニトマトの栽培、商品流通とイベント企画運営について研究結果を発表した。

生徒は、パソコンのパワーポイントを活用し、映像をもとに説明。イベント企画運営では、ホーストレッキング事業へのボランティア運営協力における「焼き鳥」や「果物アイス」の販売を通じ、価格とコストによる販売研究が報告され、来年へ向けての課題も提言された。

また、商業部では、苦前町の特産物を利用した製品開発の取り組みにおいて、大麦若葉を利用したそばやカステラを試作し、風車まつりなどでの市場調査も行い、健康食品を取り入れたメニューに手ごたえを感じていた。

会場では、大麦若葉を活用した試作品ロールケーキの試食も行われ、好評を得ていた。



募金箱を手渡す古中生徒会

十月二十一日から二十七日、古丹別中学校生徒会（会長辻亜梨沙、生徒五十九名）が、校内での赤い羽根募金活動を展開した。この募金活動は、一週間校内



募金箱を手渡す苦小児童会

十一月二十八日苦前小学校児童会（川村友紀奈会長・児童九十五名）は、校内で取り組んだ「赤い羽根募金」の収益金を役場ロビーにおいて、苦前町社会福祉協議会へ募金した。

赤い羽根募金で善意の輪！

同児童会では、全校朝会や児童会だよりで募金を呼びかけ、同月七日からの十日間、登校時に学校玄関で募金箱を抱えて、各児童へ募金を呼びかけた。

募金活動を通じて児童たちは、「普段会話をしなかった人と会話ができるようになり、うれしかったです」と喜びを感じ、「みんなが集めた大切なお金。体の不自由な人や困っている人のために使ってほしい」と濱本哲也会長へ募金箱を手渡した。

募金を受け濱本会長からは「みんなが協力してくれたお金を大切にに使っていただきます」とお礼を述べた。

全生徒の協力により、十月からの新生徒会活動の初仕事として集められたもの。募金活動のPRには、生徒会が五分程度の寸劇ビデオを作製し、お昼休みに放送して全生徒へ協力を呼びかけた。

集められた募金は、十一月一日生徒を代表し、辻生徒会長ほか三名が、古丹別支所を訪れ「障がい者やお年寄りなど社会的に困っている方への支援にご活用いただきたい」との願いを込め、伊藤通康古丹別支所長へ手渡された。

この赤い羽根募金活動は、町内小中学校のすべてで取り組まれている。

「食育って何？」

ふるさと教育セミナー PTA連合会研修会 で学ぶ！

十一月三十日公民館において、家庭、学校、地域が一体となり社会環境の改善やボランティア精神の向上を目指し、ふるさと教育セミナー（PTA連合会研修会）が開催され、各学校PTA会員や子ども役員など青少年に関わる百五十名が参加した。



食育について講演する小平教授。主食3・主菜1・副菜2の弁当箱ダイエット法を提唱していた。

セミナーでは、市立名寄短期大学の小平洋子教授から「食育って何？」と題し、学童期における食事について講演。近年の青少年の肥満傾向や青年期での女性の痩せすぎによる胎児への影響などの問題点に触れ、子ども頃からの食事を通して、食物に対する知識、経験が「生きる力」となることを訴えた。

また、苦前町の学社融合事業など、農業や漁業資源を活用し、地域社会が協力する取り組みは「食育」につながるという評価。食育は、「家族の一員として子どもも作業することで自然と育つもの。楽しく手伝わせることがポイント」と子育て方法についてもアドバイザーが話した。

講演後には、社会教育課の平井裕美男女平等参画推進係長が苦前町の子育て支援事業について説明し、当該事業への協力を呼びかけ終了した。

カンガルースクール 英語で遊ぼう！



英語を使ったの踊りで楽しく指導するオリヴァさん

十二月三日公民館で、カンガルースクール「オリヴァさんと英語で遊ぼう」が開催され、子どもたちが遊びを通じて、生の英語にふれあった。

オリヴァさんは、英語指導助手として昨年七月に赴任して以来苦前町二年目となり、片言の日本語は分かるようになり、これまで「本を利用してやってみよう」などの事業で協力。今回は、保護者などの希望による幼児への直接指導となった。

スクールでは、子どもたちが数字や頭、肩、膝など身体の名称の英語を踊りながらゲーム感覚で体験。緊張気味の子どもたちも、すぐにオリヴァさんと仲良くなり、楽しい英語の時間となった。

地域のためにできること 〜苦中三年総合学習〜

十二月五日苦前中学校（松本美樹雄校長）三年生が総合学習で、高齢者や幼児との交流や地域清掃活動など地域ボランティアを展開した。



新聞でのトンネル遊びに子どもたちも大はしゃぎ

この学習は「町民が楽しく暮らせるまちづくり」をテーマに、自らを考え、相手の気持ちに立つて企画・実践を行うもの。三年生十七名が四班に分かれ、独居老人宅の訪問や廃品回収、高齢者や幼児を招き、交流を計画した。学校での交流は、子育て支援センターに通う親子五組を招待。事前に保育所で子どもとの遊びを学習し、体育館での新聞遊びや家庭科室でのお菓子づくりで交流を図った。参加した親子からは「普段接する機会のない、お兄さんやお姉さんと遊べて楽しい」と好評を得ていた。

ライオンズクラブ 文庫寄贈

苦前町ライオンズクラブ（会長年代芳則）は十一月三十日例年実施しているライオンズ文庫図書三万円分を寄贈した。



ライオンズ文庫は、昭和五十八年度から続けられ今年で二十三年目。寄贈総額は百三十一万円に上り、蔵書も千百冊を超えている。寄贈は、同クラブ教育青少年委員長の西大志さんが「子ども数は減ってきていますが、たくさん本を読んでほしい」と廣瀬功直教育長へ寄付金を手渡し、廣瀬教育長は「町財政の厳しい中、貴重な財源として有効に活用させていただきたい」とお礼を述べた。

同クラブでは十二月八日歳末助け合い募金を社会福祉協議会へ募金した。

木札に集中！ 子どもカルタ講習会

十二月七日から五日間公民館において、北海道文化の下の句カルタの普及を図ろうと町子ども会育成連絡協議会（会長早川



真剣に札を覚える子どもたち

日出利）が子どもカルタ講習会を開催した。

毎年、子どもカルタ大会を開催しているが、近年参加者が減少。北斗歌留多クラブ（会長渡辺達也）の協力のもと、昨年からは開催されている。講習会では子ども十名が参加し、まず札の読み方から始まり、読める札を集め、独特の読み手の声に静かに耳を傾けていた。

カルタは、集中力や俊敏力を高め、礼儀を重んじる冬のスポーツと言っても良い。お正月、家族で楽しんでみてはいかがでしょう。

苦前町子どもかるた大会は、一月八日公民館で開催される。

異文化交流で 肉まんづくり



12月3日公民館で、町内に水産加工の研修生として滞在する中国の李瑞(リー・ルイ)さん他六名が、本場の肉まんづくりを指導しながら、

参加する主婦らと異文化交流を行った。

肉まんは、具材となるキャベツや人参をみじん切りにし、ひき肉と混ぜ合わせ、中国の調味料五香粉や塩、しょうがなどで味付け。小麦粉にドライイーストを混ぜた生地を丸く伸ばし、具を包み込み、20分程度蒸されて完成。参加者は、一つひとつ味付けを確認しながら、会話を通じて講師との交流を図った。

最後に講師からは、参加者にトマトを使った中国のスープも提供され、試食とともに楽しい交流となった。

バレエ教室で ちびっ子プリマ体験



文化体験プログラム第三弾として十一月二十一日からの六日間、本格的なクラシックバレエ体験教室が行われ、札幌の真下教子バレエ研究所で指導する真下教子氏を講師に、児童及び幼児十三名が参加した。

バレエ指導では、つま先を伸ばす動作（ポイント）、膝を曲げる動作（プリエ）など、バレエの基本動作を椅子につかまりながら練習し、曲に合わせてステップや回転の動作が加わり、子どもたちもプリマドンナ気分を味わった。

最終日（12/13）には、真下講師の教え子ら十一名が札幌から訪れ、本格的なクラシックバレエを披露し、参加した親子らはその美しさに引き込まれていた。

ヤルンジャー企画

自立に向けた

男の料理教室



エプロン姿も板につく男性高齢者

十一月二十四日食生活改善グループ「ポテトの会（会長赤坂サツ子）」協力のもと、ヤルンジャー企画「男のための料理教室」が公民館で開催され、栄養を考えた料理を男性高齢者が体験した。

この企画は、高齢者世帯が急増する中、男性も食事を用意する機会が増え、これまで奥さんまかせの調理を男性が挑戦するもの。参加した男性高齢者七名は、エプロン姿で鍵山町栄養士やポテトの会の協力により、塩分控えめの野菜味噌炒めやサンマの焼き浸し、具たくさん汁を調理した。参加者は、これまで台所に立ったことのない人もおり「女の人の大変さがわかりました」と調理にてこずる姿も見られたが、「まずは、孫に炊飯器の使い方から教わらない」と自立に向けた良い機会となった。

笑顔で

メイク体験講座



楽しくメイク指導を受ける女性高齢者

また、同月二十九日女性高齢者を対象にメイク体験講座が開催され、お化粧の実技指導とともに内面的な健康について学習した。

講師は、エフエムもえるパーソナリティとして活躍しエステティシヤンの資格を持つ村山ゆかりさん（留萌市市議会議員）。ファンデーションの濃さやアイラインの入れ方など、派手過ぎない自然なメイク方法や内面的な健康の美しさについて指導した。

教育委員会からの緊急アピール

登下校時の児童生徒の 安全確保にご協力を!!

年末も押しせまる中、広島県や栃木県において小学生女子が遺体で発見される痛ましい事件が発生した。その事件は、下校途中に行方不明となるもので、子どもをこれ以上犠牲にさせないためにも、可能な限りの再発防止を講じなければなりません。

各学校においても、児童生徒の送迎など安全を確保するため、さまざまな対策に取り組んでいますが、住民の皆様方のご協力をお願いいたします。

児童生徒が犠牲となる事件は、これまで数多く発生しており、なかでも小学1・2年

生の女兒が犠牲となる割合が多く、特に、下校時の発生が殆どであること。

以前から学校周辺での不審者の目撃情報が寄せられていたにも関わらず、事件が起きた後で、情報の存在が明らかになることが多いこと。

このことから、特に、一人で下校中の小学生低学年児童の動向に注意を払い、日頃、不審者を見つけた場合、どんな情報でも、直ちに教育委員会または警察署までご連絡くださるようお願い申し上げます。

町内では、スポーツセンターに自販機荒らしが入るなど、町内商店にも強盗被害が続出しています。年末年始、外出が多くなるため、自宅の戸締りを徹底し、不審車両や不審人物を見かけましたら、通報するなど地域での見守りを心がけましょう!

1月

社会教育からのお知らせ

～ ナイタースキー教室開催～

Let's Enjoy Winter Sports!!

初心者、上級者問わず、全日本スキー連盟公認指導員が親切、丁寧に指導してくれます。今年も古丹別・苫前の両地区で開催いたしますので、ふるってご参加下さい。

日程：1月23日(月) 25日(水) 27日(金)
30日(月) 2月1日(水) 計5日間

時間：19:00～20:45

場所：古丹別緑ヶ丘スキー場及び苫前三角点スキー場

対象：高校生以上

参加料：無料

(但し、スポーツ安全保険等には必ず個人で加入していること)

申込み：1月20日(金)まで

申込先：お問い合わせは、苫前町公民館

開催日が決定しました!

第14回北海道凧あげ大会 第33回苫前町凧あげ大会

「アトラクション」や「出店コーナー」等を予定していますので楽しみにお待ち下さい。

日時：平成18年2月26日(日)

受付 午前9時00分～

開会式 午前9時30分～

場所：とままえ温泉ふわっと

参加部門

親子の部(未就学児) 小学1・2年生の部
小学3・4年生の部 小学5・6年生の部
中学生の部 高校・一般の部
連凧の部 大凧の部(面積2㎡以上の凧)
詳細は、決まり次第お知らせします。



第5回 留萌管内スポーツフェスタ冬季大会

今年は小平町が開催地となります。

開催日 平成18年2月12日(日)

開催場所 小平町望洋台スキー場

競技種目 ジャイアントスラローム(大回転)

～ 参加者募集～
スキーの得意な方、
参加してみたい方、
ご連絡お待ちしております。



連絡先 スポーツフェスタ苫前町実行委員会
(事務局 苫前町公民館内)

～ あなたの学びたいを応援します～

ご相談・お問い合わせは 苫前町公民館

でんわ 65-4076

e-mail syakaikyoku@town.tomamae.lg.jp

HPアドレス http://www.town.tomamae.lg.jp/

お正月の食事 ワンポイント



年 末年始の 食生活について

Q これから年末年始、生活リズムが変わると食生活も変わりますが、どんなことに気をつけたらよいでしょうか？

A 年末年始での忘年会や新年会があり、暴飲暴食になりがちです。体重が増えたり、塩分の取りすぎが心配されます。特に生活習慣病の人、例えば糖尿病や心臓病、高血圧の人など、この時期は要注意です。

Q どんなタイプの人ですか？

A 例えば、肥満の人、また、忘年会や新年会の予定がいつぱい詰まっている人、それから宴会や飲み会が好きの人などがいますね。そして、健康診断で「要注意」といわれている人。気にはしているけど、声が掛かるとつい出掛けて行くという人たちは、本当に要注意です。

Q お正月といえは「おせち料理」ですが・・・？

A おせち料理の良い点は、品数が多く、特に昆布や豆、芋など、普段あまり口にしない食文化の伝統に触れることです。

Q 逆に悪い点は・・・？

A おせち料理は、日持ちさせ

るために塩分が多くなりがちです。量的にもたくさん食べ、好きな物しか食べないこともあり、野菜が不足になりがちです。良く考え、選んで食べないといけませんね！

糖 尿病と お正月の食生活

Q 注意しなければいけない人に、糖尿病の人がありましたね？

A そうです。最近、糖尿病の人が大変増えていきます。糖尿病の人は、医師から1日の必要エネルギー量を決められています。それをしっかり守ることが必要です。

Q この時期でもきちんと守ることがありますか？

A 栄養のバランスに注意して1日3食、規則正しく食事をとることが大切です。

Q お休みだと、ついゆっくり寝ていたり、朝昼兼用で食事、ということがありますね。

A 年末年始の朝食は、ルーズになりがちですが、1食抜くと栄養バランスも崩れやすく、一度の食事で食べ過ぎてしまうことがあります。また、食べない時間が長くなると、血糖値が下がって、低血糖を起こす危険が

あります。

Q それ以外にもお正月に欠かせないのが「お餅とアルコール」ですが、どのくらいの目安と考えたらよいですか？

A たとえば、お餅2個、1個が50gぐらいのものですと、ご飯でお茶碗1杯分に相当します。それからアルコールですが、日本酒の場合、お銚子1本がやはりお茶碗1杯分のエネルギーと同じです。

Q ご飯に換算して、どのくらい食べたか、自分で考える、ということですか？

A そういつことですか。これは、年末年始だけの話ではなく、普段からそうした考えで食事をとることが大切です。

Q お酒を飲んだ分、今日はご飯1杯減らそう、というようにですか？



A 健康な人ならそこまで考えなくてもよいかもしれませんが、糖尿病があつて食事をコントロールしている人は、1回ぐらいいは良いかもしれませんが、避けたほうがよいでしょう。極端なことを言えば、主食2回分をお酒に回してしまうようなことはしない方がよいと思います。

昔町は糖尿病が多い！

不規則で栄養バランスのよくない食生活、慢性的な運動不足等、このような生活習慣病に心当たりのある方は、糖尿病予備軍がもしれません。

糖尿病は初期の自覚症状が現れにくく、症状が進行するに連れて、糖尿病網膜症、糖尿病腎症、糖尿病神経障害など全身にさまざまな合併症を引き起こす病気です。

現在、糖尿病予備軍は、成人6人に1人とわわれています。若前町での平成十七年五月診療分における糖尿病による医療機関の受診率（国保加入者）は、5・79割と管内平均4・70割や全道平均4・38割を大きく上回っています。

症状が現れたときには、すでに進行している病気です。予防するには、運動不足の解消、食生活の改善など生活習慣を改め、健診などによる早期発見、早期治療が大切です。

個人事業者の皆さん

売上一、〇〇〇万円超えてませんか？

平成十五年の課税売上高が千万円を超えている方は、消費税の課税事業者となり、平成十七年分の消費税の申告をしなければなりません。新たに消費税の課税事業者となる方は、速やかに「課税事業者届出書」を提出して下さい。

事業者の皆さんが期限内に納めるためには、

いざ納付というときに資金不足とならないよう納税資金の積み立てをしておきましょう。税務署や金融機関に行かなくても納税できる安全・便利な振替納税をご利用下さい。詳しくは、国税庁ホームページ（<http://www.nta.go.jp>）又は、留萌税務署個人課税部門

（〇一六四 四二一 〇六六三）までお尋ね下さい。

確定申告のお知らせ

町総務財政課税務係では、次のとおり所得税確定申告書の記載指導を行いますので、申告が必要の方は、ご利用願います。

日程及び場所

2月9日（木）9時～18時

苫前町役場大会議室

2月10日（金）9時～18時

町公民館農村研修室

持参するもの

賃金・給料等及び年金等の源泉徴収票、印鑑、保険会社や郵便局などが発行した生命・損害保険料等の払込証明書、医療費領収書、健康保険証、

健康保険税、介護保険料、国民年金保険料等の領収書など支払額がわかるもの、金融機関の口座番号

また、営業及び譲渡における所得税確定申告書の記載指導は、次のとおり。

日程及び場所

2月22日（水）10時～18時

苫前町役場大会議室

1月 町税の納期

今月は、町道民税
固定資産税
の納入月です。

納期内納入にご協力願います。

气象台「大雪」

これから本格的な冬を迎え、雪のシーズン到来です。旭川の年間降雪量は七五六センチ。冬期間の月別降雪量は、十一月一四センチ、十二月一九センチ、一月一七センチ、二月一三センチ、三月一六センチとなっています。

また、羽幌の年間降雪量は七二五センチで旭川とほぼ同じですが、最も多いのは一月の二〇八センチとなっています。なお、これまで一日の降雪量として最も多い記録は、羽幌で六六センチ（一九八〇年）です。

气象台では、留萌地方で十二時間に三〇センチ以上の降雪が予想される場合に「大雪注意報」を、十二時間に五〇センチ以上の降雪が予想される場合に「大雪警報」を発表し、大雪による交通障害や吹き溜まりへの注意や警戒を呼びかけます。

注意報や警報などの気象情報は、テレビやラジオのほか、インターネットのホームページでもご覧になれます。

旭川地方气象台

ホームページアドレス

<http://sapporo-jma.go.jp/>

ah/sahika/web/asa-index.html

問い合わせ先

旭川地方气象台防災業務課まで
電話〇一六六 三三二 七一〇二

戸籍の小箱

慎んでお悔み
申し上げます

氏名 年齢 死亡日 住所

林 秀克（55歳） 11月18日 苫前

吉谷 高尾（93歳） 12月6日 豊浦

未長くお幸せに

氏名（夫） 住所 氏名（妻） 住所

益田 博幸（羽幌町）上牧 真澄（古丹別）

「ご厚志に感謝します」

各町内会等への寄付

（古丹別町内会・苫前町遺族会へ）

古丹別 福原 富吉様

（九重町内会・九重白葉会へ）

九重 開発 百合子様

スマイル 住まいる情報

Information

急ぐほど 正しく はっきり 110番
1月10日は「110番の日」です

110番は、事件・事故などが発生した場合に警察へ緊急通報するための電話です。

電話に出た警察官の質問に、あわてず落ち着いて正しく答えて下さい。

携帯電話で110番する場合、移動していると通話が途切れることがありますし、車を運転しながらの通報では法令違反となります。必ず安全な場所に停車して通報して下さい。また、警察官が早く現場に臨場できるように、その場所の住所や付近の目標となる建物などを正しく伝えて下さい。

聴覚障害者用メール110番

耳や言葉の不自由な方が携帯電話のEメール機能を利用して緊急通報するシステムです。通報するときは、事件・事故の内容のほか、詳しい場所、目標物とメールアドレスを正しく入力して下さい。

急を要しない相談や照会は、警察相談電話#9110または最寄の警察署・交番・駐在所へお問合せ下さい。



110番の正しい利用をおねがいいたします。

苫前町の交通事故情報

平成17年11月末現在

発生件数 死者数 負傷者数
9件 0人 11人

交通事故死ゼロ日数は

11月30日現在で587日



古丹別の五反田久さん宅では、毎年、イルミネーションで街を明るくし、通りがかりの方や子どもたちに大人気。

五反田さんのイルミネーションは、今年で6年目。旭川市などでの住宅のイルミネーションを参考に、毎年電球を入れ替え、総数も2万個を突破。今年は新品種の青く光るLED電球を購入。通常の電球よりも3分の1の電力で賄える。飾りつけも、庭の中に汽車にスノーマン（雪だるま）を連れ、電車ごっこをしている風景が作り出され、遊び心もいっぱい。

最近では、イルミネーションを飾る家庭も増え、その取り組みが町内に広がり、地域の方々を楽しませている。五反田さんのイルミネーションは、1月いっぱい飾られる予定。

今年も見事なイルミネーション

劇団「井の中のカワズたち」の舞台「牝熊」が、十二月十七日公民館講堂で公演され、多くの町民へ希望と勇気を与えた。

会場には、復活となるこの舞台に町内外から三百八十名が来場。昭和三十年代の山奥の造材



感動をありがとう 「牝熊」公演に絶賛の声！

「素晴らしい舞台。感動をありがとう」との言葉が寄せられた。また、舞台には劇団を発足させた当時の公民館長である湯田克衛さん（留萌市在住）も駆けつけ、昨年十一月の劇団復活が、大きな手術を乗り越える勇気を与えてくれた。すばらしい出来です」と、この復活公演を喜んだ



会場を沸かせたこまどり姉妹

カラオケ大会と豪華抽選会の夕べ

ふわっとホールに 三〇〇名
十二月十日とままえ温泉ふわっとで、カラオケ大会と豪華抽選会が行われ、町内外から三百名が訪れ、楽しい舞台と抽選会で盛り上がった。
カラオケには羽幌町のほか深川や滝川からも参加。華やかな着物姿で会場を盛り上げ、審査員となったジャンボ秀克さんの話術で楽しいひと時となった。



完成したフラワーアレンジに大満足の参加者たち

成人講座 フラワーアレンジメント

十一月二十九、三十日の二日間、成人講座フラワーアレンジメント教室が行われ、女性二十一名が参加。家庭で部屋などを彩る生花のアレンジを体験した。講師には、日本フラワーデザイナー協会二級の安藤麻里さん（図書室司書）が務め、欧米でのフラワーデザインと日本の生花の歴史などを説明。フラワーデザインは、きまりにとらわれずテーブルや玄関などあらゆる室内装飾と調和をとるもの。ガーベラやスイートピーなどの生花を松ぼっくりやレモンリーフで飾り付けた。

参加者は、「託児所も設けられ、ゆつくりと体験できます」と好評で、来年は、正月飾りの要望もでていた。



寒さの中、しめ縄づくりをする林退協会員

しめ縄づくりで 初詣準備万端！

十二月十一日古丹別神社において国有林退職者協議会古丹別支部（谷口順清支部長）が、恒例のしめ縄づくりを実施。冷たい風が吹き付ける中、会員十六名が稲わらをより合わせ、長さ十二坪におよぶしめ縄二本を作製した。

このしめ縄づくりは、旧営林署時代に山の神を祭る作業の経験が活かされ、「新たな気持ちで新年を迎えられるよう毎年実施してきます」と、これまで十九年間続けられ、稲わらは地元農家から提供を受けている。

このしめ縄は、十二月三十一日に古丹別神社の鳥居に飾られ、初詣客を迎える。

古丹別中学校生徒の作品

ちびっこギャラリー

ちびっこギャラリー

ちびっこギャラリー

『本棚』



1年 立石 大地くん
木を切るのが大変でした。



『本棚』



1年 水野 竜太くん
ニス塗りが大変だったけど、上手くできてよかったです。



『マガジンラック』



1年 逢坂 拓人くん

曲線を作るのが難しかったです。



『本立て』

ニス塗りが大変だった。



1年 鈴木 駿樹くん



『CDラック』



1年 成田 裕也くん
ニス塗りが上手いきました。



『本立て』

ニス塗りで隙間を塗るのが大変だったけど、うまくできました。



1年 伊藤啓一郎くん



このコーナーは、町内の保育所（園）や小中学校の園児や児童生徒の作品を紹介します。ひとりでも多くの作品を紹介したいと思っています。

2月号の予定は苫前中学校の生徒のみなさんです。

『ブックエンド』

ニス塗りが難しかったけど、うまくできてよかったです。



1年 太田 俊哉くん



『本立て』

木を切るのがうまくできてよかった。



1年 玉川 雄也くん



風力発電の売電状況
(町営分)

17年の実績(1~11月分)

43,863,545円

平成17年11月分の実績

・供給電力量

513,480kWh

6,442,890円

(設備利用率32.42%)

新年明けましておめでとうござい
います。うるう秒をご存知で
すか? 2006年1月1日午
前8時59分59秒の後に時刻
調整のため1秒間の「うるう秒」
が挿入されます。これは、日
常使われる原子時による世界の
標準時と不規則な地球の回転を
もとにする天文時の誤差を解消
するもので、1999年1月以
来、7年ぶりの調整となる。
地球は約50年で32秒ぶん回
転スピードが遅くなっていま
す。その原因には、地球温暖化
や地球の形状の変化など自然環
境の変化が原因といわれていま
す。うるう秒挿入後の正しい
時刻は、各放送局やNTTなど
の時刻のお知らせサービスでこ
確認下さい。新しい時刻で、
新年を迎えましょう!

編集
雑記
帳